

〔奨 励 賞〕 タイヤ計測装置「タイヤプロファイラー」



代表取締役
田中 文敏 氏

中央海産株式会社

〒400-0043 山梨県甲府市国母8-18-7

TEL.055 (220) 7300

<https://www.seafood.co.jp/>

タイヤ計測装置「タイヤプロファイラー」はタイヤの画像を撮影し、メーカー・ブランド・サイズなどを読み取る同時に、トレッドの残溝測定を行う。同装置によるタイヤ1本の検品時間は約2秒。人手に比べタイヤ入庫時の検品業務を大幅に効率化できる。

さらに、同装置で取得したデータをクラウドサーバーに転送して画像解析し、結果を「タイヤカルテ」として保存。タイヤカルテの情報はスマートフォンなどで閲覧でき、タイヤ販売促進ツールとして使うことができる。中央海産は、こうした一連のシステムを構築、カーディーラー・カー用品販売店などからタイヤを預かる倉庫業者向けに提案している。

同装置は残溝測定に光切断法を用いた。測定精度はプラスマイナス0・1ミリメートル。文字認識に関しては2019年から蓄積している200万枚超の画像データを基に、独自の人工知能（AI）モデルを作成して精度を高めた。長年蓄積した豊富な画像データを保有・活用しているのが同社の強みだ。倉庫では一日当たり数百セットのタイヤ入庫を処理することもある。そのため、撮影台にボールコンベヤーを採用するなど、取り扱いの負担軽減も追求した。

同社は倉庫業が主体となるユーザーにタイヤプロファイラーなどの実機を貸し出し、ソフトウェアを含めたシステムとして導入を促し、測定料を徴収するビジネスモデルを展開。25年12月から普及に向け本格活動をはじめ、複数企業から受注を獲得している。

